

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	高齢者における腫瘍径 2-4cm の臨床病期 I 期 pure-solid 型非小細胞肺癌における術式毎の予後比較
	研究対象者	当センターにおける 2012 年 1 月～2021 年 12 月の非小細胞肺癌完全切除 2957 例のうち 75 歳以上腫瘍径 2-4cm の臨床病期 I 期充実型非小細胞肺癌 142 例
	研究目的	肺癌領域において標準術式は解剖学的に分かれた肺葉ごとに切除する肺葉切除でありましたが、最近の研究で小型肺癌(腫瘍径≤2cm)はさらに切除範囲を少なくした区域切除、もしくは部分切除でも予後にほとんど差がなかったことが報告されています。すなわち肺を多く温存できるため術後の呼吸機能の低下を抑えられるメリットがあります。また一般的に高齢者の方は呼吸機能の予備能の関係などで、標準的には肺葉切除が選択される肺癌において切除範囲の少ない区域切除や部分切除が選択されることがあります。そのような背景で今回腫瘍径 2-4cm の臨床病期 I 期充実型非小細胞肺癌において肺葉切除と比較し、区域切除や部分切除が行われた症例の予後について検討し、解析することでよりそれぞれに適した術式の選択が可能かどうかを明らかにすることが目的です。
	研究方法	年齢や性別、喫煙歴などの背景因子や腫瘍マーカー、腫瘍径などの臨床因子と、手術検体の組織診断、病理学的因子を電子カルテの診療記録と当センターの病院診療科統合データベースを用い収集し、匿名化した上で統計学的な解析を行います。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号(識別コード)で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2024 年 10 月 21 日～西暦 2026 年 12 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 [ ]西暦 年 月 日頃(研究の進捗によって前後いたします)
利用する試料・情報の項目(チェック[X]が入った項目を利用します)	[ ]試料:	[ ]血漿、[ ]血清、[ ]全血、[ ]末梢血から抽出した DNA、 [ ]病理検体(具体的に記載: _____)、 [ ]尿、[ ]糞便、[ ]唾液、[ ]胸水、[ ]腹水、[ ]脳脊髄液、 [ ]毛髪、[ ]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[ ]生年月日、 [X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[ ]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、 [X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過(予後追跡データを含む)、 [ ]ゲノムデータ、[ ]看護記録、[ ]その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	呼吸器外科 重福俊佑
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター 呼吸器外科 重福俊佑 045-520-2222 利用停止のお申し出は 2024 年 10 月 31 日までにお願いいたします	